

1.農政の動き

◆「令和 5 年度 農薬危害防止運動」の実施について

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える 6 月から 8 月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/230428.html>

◆「漬物で野菜を食べよう！」の取組について

農林水産省では、1 日当たりの野菜摂取量の平均値 280g 程度を、目標値の 350g に近づけることを目的として、「野菜を食べようプロジェクト」を実施しています。

この度、「野菜を食べようプロジェクト」の一環として、「漬物」で野菜の消費拡大を図るための取組を実施することとしましたので、お知らせします。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/230426.html>

◆野菜の入荷量と価格の見通し（5 月分）について

大阪市中央卸売市場に入荷する主要野菜についての入荷量と卸売価格の見通しを公表しました。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>

◆令和 4 年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移及び米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向について（令和 5 年 3 月末現在）

農林水産省は、令和 4 年産米の「産地別契約・販売状況（令和 5 年 3 月末）」、「民間在庫の推移（令和 5 年 3 月末）」及び「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向（令和 5 年 3 月末）」について、取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/230428.html>

◆農山漁村地域づくりホットラインについて

農林水産省では、地域づくりに関する取組を後押しするための窓口「農山漁村地域づくりホットライン」を開設しています。

このホットラインでは、農山漁村で地域づくりに取り組むみなさんからの相談を受け付け、地域の実態や要望を直接把握し、関係府省とも連携して課題の解決を図るため、下記のような支援を行い、地域づくりを応援します。

<ホットラインでの主な支援内容>

（ア）農山漁村における地域づくりの実態や要望・課題をお伺いし、相談者に寄り添い、ともに考えます

(イ) 相談内容を踏まえ、他府省を含めた国の支援制度をご紹介します

(ウ) 参考となる全国各地の取組事例をご紹介します

※本ホットラインは、地域づくりに関する取組の後押しを目的としており、特定の個人への支援を目的としたご相談は対象となりません。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/keikaku/nousonshinkou/kasseika/chiikihotline.html>

2.お知らせ

<募集・案内>

◆外国人に日本の食文化・食体験の魅力を伝える「商品」を大募集！

～越境 EC を通じた日本の食文化・食体験「商品」輸出化プロジェクト始動！～

農林水産省は、訪日中に食体験を楽しんだ外国人が帰国後も本国にいながら日本の食を再体験できるような環境整備を図り、日本産農林水産物・食品の輸出拡大につなげていく「食かけるプロジェクト」を進めています。今回、このプロジェクトの一環で、地域の食文化・食体験の魅力を伝える「商品」の越境 EC による輸出商品化を支援するプロジェクトを 4 月 27 日（木曜日）から開始しています。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230427.html>

◆令和 5 年度「SAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）」の募集を開始します！

～インバウンド需要回復に向けて頑張る農山漁村の取組を大募集！～

農林水産省では、農泊を推進している地域のうち、多様な地域の食・食文化の魅力で訪日外国人を誘客する地域を「SAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）」として認定し、各地域の魅力を海外へ一体的に発信しています。令和 5 年度に新たに「SAVOR JAPAN」として認定する地域の取組を、5 月 1 日（月曜日）から 7 月 31 日（月曜日）まで募集します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230501.html>

◆第 16 回「アグリフード EXPO 東京」出展者募集のお知らせ（募集期限を延長しました）

「アグリフード EXPO」は、全国各地の国産ブランドを担い、魅力ある農林水産物づくりに取り組んでいる農林水産業者の皆さまや、地元産品を活用したこだわりの食品を製造する食品企業の皆さまに、広域的な販路拡大の機会を提供する商談会です。

今回は、4 年ぶりとなる東京での展示商談会に加え、ウェブサイト上でオンライン商談会を実施いたします。

また、特別企画として、貿易商社や海外バイヤーを招へいし、輸出に向けた商談を集中的に行う「輸出特別フロア」の設置や、地域性の高い特色ある国産酒類の集約出展ブース「グローバル酒類パビリオン」の設置などを予定しております。

なお、出展募集期限を 5 月 24 日（水）まで延長しました。皆さまのご出展をお待ち申し上げます。

- 出展者募集期間：令和5年2月17日（金）～5月24日（水）
- 事務局 エグジビジョンテクノロジーズ株式会社（問い合わせ先：03-5775-2855）
- 会期：展示商談会：令和5年8月23日（水）、24日（木）（於：東京ビッグサイト）
オンライン商談会：令和5年5月8日（月）～9月29日（金）
- 主催 日本政策金融公庫

▼詳細・参加申込はこちら

公式ウェブサイト：<https://www.agrifood-expo.jp/>

◆5/2 上半期募集開始「2023年度日本産食品サンプルショールーム」のご案内

※本事業は農林水産省補助事業として実施します

ジェットロでは、世界複数地域に日本産食品サンプルショールームを設置し、現地バイヤーを誘致して商品紹介や試飲・試食の提供を随時行うとともに、現地バイヤーとのテレビ会議システムを活用したオンライン商談を実施することで、日本産食品の取扱い事業者の新規参入・販路拡大を目指します。

◇展示期間：2023年6月中～2024年3月31日（予定）

※展示いただく地域によって展示期間が異なります。詳細は「募集要項」をご確認ください。

◇対象者：日本産食品の輸出に意欲的な企業・団体等

◇海外バイヤー：輸入・卸事業者、小売関係者、外食関係者

◇本事業の特徴

- ・オンライン商談であるため、ご希望の場所から参加いただけます。
- ・商品サンプルを実際に海外バイヤーに試飲、試食してもらうことができます。（カタログ展を除く）
- ・オンライン商談の際は、通訳をジェットロが手配します。（米国・中国を除く）

◇募集地域

<アジア> ソウル、中国（上海、広州、大連、成都）、香港、台北、バンコク、ベトナム（ハノイ、ホーチミン）、クアラルンプール、ニューデリー

<中東> ドバイ

<欧州> パリ、ストックホルム、ヘルシンキ

<北米> ロサンゼルス、シカゴ

<南米> サンパウロ

◇申込方法等、詳細は以下よりご確認ください

<http://www.jetro.go.jp/events/afb/80196cb795dcea83.html>

◇締切：

<北米以外>

STEP1：お客様情報の入力締切 2023年5月17日(水)

STEP2：商品登録締切 2023年5月19日(金)

STEP3：各地域への申込締切 2023年6月2日(金)

<北米>

2023年5月26日（金）

※ショールームによっては想定する募集定員に達し次第応募を締め切りとさせていただく場合もございます。

◇海外ビジネス人材育成塾について：

2023年度日本産食品サンプルショールーム参加者限定の特別コースを6月、1月に開講します。

対象国・地域等詳細については、下記 URL よりご確認をよろしくお願いいたします。

「中小企業海外ビジネス人材育成塾」

<https://www.jetro.go.jp/events/igc/fa1cf28962f1e33b.html>

◇お問合せ先：以下のフォームよりお問い合わせください。

https://www.jetro.go.jp/form5/pub/afb/ssr_inquiry

3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをホームページで写真により紹介しています。

◇滋賀県多賀町 一円憲一さん

獣の習性・特徴を理解し、現状に満足しない取り組みを続ける！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20230502.html>

◇兵庫県豊岡市

豊岡市がオーガニックビレッジ宣言を発表しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2023/20230428.html

◇兵庫県丹波篠山市

丹波篠山市がオーガニックビレッジ宣言を発表しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2023/20230501.html

◇和歌山県紀美野町

棚田の再生が進む「中田の棚田」で、今年も種蒔きなどの作業が行われました！

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/202304nakatanotanada/nakatanotanada.html>

◇京都府京都市

「持続可能な食料生産」について講義－出張講座「京都芸術大学」－

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/230502.html>

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

◆近畿の「BUZZMAFF（ばずまふ）」

職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。
5月12日（金曜日）から【農業を始めたい方必見】農水省職員が「新しい兼業農家」のスタイルを紹介しま
す！が公開されました。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html>

5.統計情報

◆青果物卸売市場調査結果（令和4年年間計及び月別）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/seika_orosi/#y

◆作物統計調査 令和4年産指定野菜（春野菜、夏秋野菜等）の作付面積、収穫量及び出荷量
併載：令和4年産きゅうり、なす、トマト及びピーマンの年間計

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/#y6

◆令和3年度森林組合一斉調査結果

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sinrin_kumiai/#r

∞ * 編集後記 * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症になり、関連する予防措置も緩和されました。
このため、通勤電車も在宅勤務の方が出勤するようになったこともあってか、混雑してきているように見受けま
す。また、飲食店街や商店街等も活気が戻ってきているのではないかと思います。
3年ぶりに元の社会に戻ってきたのが、かえって別世界に来た感じもします。
しかし、感染症は依然存在するので、皆様、予防には、引き続きお気を付けてください。

■ □ ■

☆配信停止、メールアドレス等変更には
御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。
☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、
⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>

編集・発行：近畿農政局 企画調整室
〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話：075-451-9037（直通）

■ □ ■ □ ■